

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
210005	XXX1210005	2	後期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	共通	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	共通	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	共通	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通	選択	1年
日本経済論	安藤 潤						

授業目的	
------	--

この授業の目的は、情報文化学部と国際学部とのディプロマ・ポリシーの一部と整合性を持たせるべく、停滞する現代日本経済が抱える課題を、「経済のグローバル化」をキーワードに、主に家計（household）という観点から理解し、をすることである。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション：日本の少子高齢化と家計経済
【前・後】【予・復習に4時間】この科目のレポート用教科書、参考書を読んでおくことが望ましい。

第2回

【前・後】【予・復習に4時間】参考書[1]第1章1-2を読んでおくことが望ましい。

第3回

【授】日本経済とグローバル市場経済②
【前・後】【予・復習に4時間】参考書[1]第1章1～4（そのほか、GATT、WTO、EU などについて調べておくこと）。授業後は反グローバリズム、WTO ドーハラウンドについて新聞記事検索などで調べて補足すること。

第4回

【授】日本のジェンダー経済格差：M字曲線、男女間賃金格差、女性差別の類型と経済理論
【前・後】【予・復習に4時間】参考書【1】5章5-2（未知の用語などは事前に調べておくこと）。授業後はファミリー・フレンドリー施策、ポジティブ・アクションについて調べ、授業内容を補足しておくこと。

第5回

【授】日本の共稼ぎ夫婦の家事・育児労働①：特化から分担へ、分担の現状とその要因
【前・後】【予・復習に4時間】教科書各章の記述統計・度数分布表、参考書[1]7章7-3で日本の共稼ぎ夫婦の家事分担の現状を知っておくこと。

第6回

【前・後】【予・復習 4 時間】参考書 [2] の序章、第 1 章、第 2 章を読んでおくことが望ましい。
また、家電製品の普及は家事労働を減らしているかについても考えておくこと。

第7回

【授】日本の共稼ぎ夫婦の家事・育児労働④：アイデンティティ経済学
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第1章1.および2.を読んでおくことが望ましい。

第8回

【授】日本の共稼ぎ夫婦の家事・育児労働⑤：3つの仮説とアイデンティティ経済学からの説明
【前・後】【予・復習に4時間】教科書第1章2.2.3、第2章2.および第3章2.を読んでおくことが望ましい。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							40
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							40
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

定期試験を 40%、不定期に授業の中でとるコメントカードの提出回数・内容を 20%、教科書を使ったレポートを 40%とし、成績判定を行う。成績は本学の基準に従う。

教科書参考書

教科書

安藤潤『アイデンティティ経済学と共稼ぎ夫婦の家事労働行動—理論・実証・政策—』文眞堂, 2017年(2,400円+税)

参考書

[1] 長谷川啓之 編『経済政策の理論と現実』学文社, 2009 年 (2,500 円+税)
[2] 品田知美『家事と家族の日常生活 主婦はなぜ暇にならなかったのか』学文社, 2007 年.
[3] 安藤ほか『少子・高齢化と日本経済』文眞堂, 2014 年 (2,500 円+税)

受講に当たっての留意事項

教科書は授業とレポートで使用するので必ず購入すること。ただし教科書はすべての回の授業で使用するわけではなく、一部の授業内容は参考書を用いる。参考書の購入は義務付けない。1年後期配当科目ということを考慮し、できるだけ平易に講義し、ある程度は用語の説明を行うが、基本的には経済用語辞典や指定図書などを用いて自分で調べ、学ぶこと。どの授業でも同じだが、無遅刻・全出席が大原則である。スマートフォン、携帯電話の類は必ず電源を切ってカバンなどにしまい、机の上には出さないこと。コメントカードは感想文を書く場ではない。ましてや学籍番号と氏名だけを記入する出席カードでもない。成績評価に際し、20%を与えていることからわかるように答案の一部であるとの認識を持つこと。

學習到達目標

少子高齢化から発生すると考えられる現代日本経済が抱える様々な家計の問題を理解し、いずれ自分がそれを支える一員となる自覚を持ちつつ、「なぜ日本はこんな経済になったのか」を自分なりに考え、残りの学生生活を過ごすにあたり、もって臨むべき問題意識を1つでも多く持っているようになること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習